学校番号	402

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校古典Ｂ　古文編　（三省堂）						
副教材等	「読解をたいせつにする　体系古典文法　八訂版」（数研出版） 「精選漢文～重要な句法と語彙を学ぶ～」（尚文出版） 「新総合図説国語　新訂版」（東京書籍） 「理解を深める　核心古文単語 351」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・的確に場面や心情等を理解するために、それぞれの時代背景や語彙、文法等の知識を身につけ、自分の力で古典を読み味わえるようになろう。
・予習として一度自分の力で本文を読み、わからない単語は意味調べをしておこう。
・古典文学の学習を通じて、かつての人々の思想や感覚に触れ、現代に生きる自分との共通点や相違点をみつけてみよう。

2　学習の到達目標

・１年次に習得した用言や助動詞、漢文句法の知識・技能を実際の古文・漢文の文脈に即して応用する。
・助詞・敬語、新たな漢文句法に関する知識・技能を身に着ける。
・古文読解に必要な古文単語・古文熟語を覚え、また古文に関する文学史の知識を深める。
・古文を自分の力で正確に現代語訳し、主題や登場人物の心情、文脈を的確に捉える。
・漢文独特のリズムを味わい、長文や漢詩に慣れる。また、句法などの文法的知識を応用して現代語訳をすることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b：読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典世界に興味を持ち、当時の人々の生活、考え方、時代背景を理解しようとしている。	古典文法や古文単語、また漢文句法の知識を踏まえて、正確に現代語訳したり、漢文に訓点を施したりできる。	古典文法・古文単語・漢文句法・文学史等の知識を身につけている。
評価方法	行動の観察	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査	行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	随筆	『枕草子』 「すさまじきもの」 「雪のいと高う降りたるを」 『徒然草』 「家居のつきづきしく」 『方丈記』 「ゆく河の流れ」		◎	○	b:本文に即して場面をイメージできている。 c:古典文法・古典単語を身につけている。	b:行動の観察、記述の確認分析、定期考査 c:行動の観察、記述の確認分析、定期考査、小テスト
	物語	『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「北山の垣間見」		◎	○	b:本文に即して場面をイメージできている。 c:古典文法・古典単語・漢文句法を身につけている。	b:行動の観察、記述の確認分析、定期考査 c:記述の確認、定期考査、小テスト
	小話・漢詩	『世説新語』 「漱石枕流」 『西京雑記』 「王昭君」 唐詩	○		◎	a:中国の歴史や漢文の世界に興味を持っている。 c:漢文句法の知識を踏まえて、正確に書き下し文や現代語訳ができる。	a:行動の観察 c:記述の確認、定期考査、小テスト
後期	物語	『大鏡』 「雲林院の菩提講」 「花山院の出家」		◎	○	b:本文に即して場面をイメージできている。 c:古典文法・古典単語を身につけている。	b:行動の観察、記述の確認分析、定期考査 c:行動の観察、記述の確認、定期考査、小テスト
	史伝・思想	『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」 「項王最期」 『論語』 「子貢問政」		◎	○	b:漢文句形の知識を踏まえて、正確に書き下し文や現代語訳ができる。 c:漢文句形や漢文特有の語彙が理解できている	b:行動の観察、記述の確認及び分析、定期考査 c:記述の確認、小テスト、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。